浜松市天文台

OK 天候不良開催　NG 天候不良中止

ウェブサイトはこちら

イベント情報

天文台ウェブサイトよりお申込みください。

7/5・12・19・26 土 NG
星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間 19:30～21:00
会場 天文台屋上
申し込み 開催日 3 日前の水曜 13 時から受付（30 分ごと先着 20 組）

7/25 金 NG
メシエウォーキング

高感度ビデオカメラ（CMOS）を使って星雲や星団の電視観望を楽しみましょう。
撮影したメシエ天体のデータはおみやげにどうぞ。

時間 19:30～21:30　会場 天文台屋上
申し込み 7/16(水) 13 時から受付（先着 10 組）

7/27 日 OK
星と景色の写真講座

三脚と一眼レフカメラで、星が写った風景写真を撮影するための入門講座です。

時間 18:30～21:00　会場 2F 講座室
申し込み 7/16(水) 13 時から受付（先着 6 組）

8/3 日 NG
太陽・昼間の星観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や昼間に見える天体を観望します。

時間 14:00～16:00　会場 天文台屋上
申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。

8/8・15 金 OK
親子天文教室

小学生親子向けの天文教室です。お話と観望がセットになっています。

時間 19:00～20:30　会場 1F ホール / 天文台屋上
対象 小学生親子　申し込み 7/16(水) 13 時から受付（両日とも先着 20 組）

7/6 日 NG
太陽・昼間の星観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や昼間に見える天体を観望します。

時間 14:00～16:00　会場 天文台屋上
申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。

7/20 日 OK
双眼鏡講座

双眼鏡の構造や使い方を知る講座です。

時間 19:30～20:30　会場 2F 講座室 / 天文台屋上
申し込み 7/9(水) 13 時から受付　（先着 10 組）

7/26 土 OK
天文講座「広がる宇宙へはじめの一歩」

宇宙について知りたいという方のための基礎的な話です。
天体の動き、宇宙の広がり、簡単な天文学の歴史などについての講座です。

時間 15:00～16:30　会場 天文台屋上　対象 小学 4 年生以上
申し込み 7/9(水) 13 時から受付　（先着 15 組）

8/1・5 金 火 OK
望遠鏡を作ろう

手作り望遠鏡を製作して月を見よう。

時間 両日とも（1）19 時～ 20 時（2）20 時～ 21 時の 2 部制
会場 2F講座室 / 天文台屋上　対象 小学生親子　材料費 3,000 円
申し込み 両日とも 7/16(水) 13 時から受付（両日とも各回7組）

8/3 日 OK
「光の科学」スペクトル講座

分光器を作って「光」を知る講座です。

時間 13:00～14:30　会場 2F 講座室 / 天文台屋上
対象 小学 5 年生以上　申し込み 7/16(水) 13 時から受付（先着 10 組）

8/9 土 NG
スターウィーク 星空観望会

石人の星公園で観望会を行います。

時間 19:30～21:00　会場 石人の星公園
申し込み 予約不要 直接会場へお越しください。
※お車でお越しの方は石人の星公園の駐車場をご利用ください。

裏面のクイズの答え：正解は、B（「月面 X」と呼ばれる現象）

星空を楽しむ

天の川に想いを馳せる

文 浜松市天文台事業協力者の会 赤峰恭太郎

夏の晴れた日に夜空を見ると、ぼんやりとした白い帯が見えます。これが天の川です。古代の人々はこれを川や母乳だと思っていたようですが、望遠鏡が発明されると無数の星々の集まりであることがわかりました。今では、天の川の正体は数千億個の星の大集団（天の川銀河）であり、その中に私たちの太陽系があることもわかっています。私たちも天の川の一部なのですね。

天の川銀河は、ちょうど目玉焼きのような形をしていて、太陽系は端のほう（白身の部分）にいます。目玉焼きを横から見ると棒状に見えるように、天の川銀河も帯のように見えるわけです。特に夏は銀河の中心（黄身の部分）方向を見ているので、天の川を観察しやすい季節といえます。天の川はとても淡いので、街明かりが少ない場所で、月明かりの影響が少ない新月付近の時期に観察するのがオススメです。

寝そべりながら天の川を見ると、体が宇宙に浮かんでいるような不思議な感覚になります。この夏は天の川の観察にチャレンジしてみてはいかがでしょうか？

竜頭山（浜松市）で撮影した天の川（撮影：赤峰）

①日付 ②月の出の時刻
③月の入りの時刻 ④月齢

浜松科学館

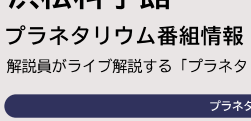
blog

プラネタリウム番組情報

※7/1 は市政記念日のため土日祝と同じプログラムです。　※夏季：7/20 ～ 8/31

解説員がライブ解説する「プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

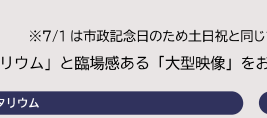
プラネタリウム



写真：浜松天文台

七夕まつり

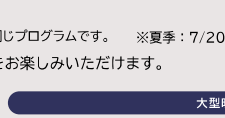
～ 7/13　14:30～15:25
～ 6/30　土日祝は 11:30～12:25 も投映
7/1～　土日祝・夏季は 13:00～13:55 も投映



夜空のどうぶつ図鑑

7/15 ～　14:30～15:25
土日祝・夏季は 13:00～13:55 も投映

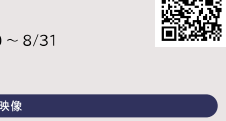
大型映像



©NHK

ティラノサウルス

～ 6/30　13:15～13:55
7/1 ～　10:30～11:10
いずれも土日祝・夏季のみ上映



©D&Dピクチャーズ/NED

ヒーリングアース IN JAPAN

土日祝・夏季　15:50～16:30

プラネタリウム

星空マルシェ
～解説員による星空解説・宇宙の話～

～ 7/18 までの平日　15:50～16:30

キッズプラネタリウム

きらきら☆こんやのおほしさま
なつのほし

～ 6/30　10:30～11:05
7/1 ～　11:30～12:05
いずれも土日祝・夏季のみ上映

夜の科学館　特別投映

星空食堂
今回は宇宙日本食についてご紹介します。

7 月 11 日（金）　18:00～18:40
19:00～19:40

お知らせ

7 月 1 日から土日祝・長期休暇の投映スケジュールが変わります。
※平日の変更はありません。

10:30 ～ 11:10	大型映像
11:30 ～ 12:05	キッズプラネタリウム
13:00 ～ 13:55	プラネタリウム
14:30 ～ 15:25	プラネタリウム
15:50 ～ 16:30	大型映像

りゅう座の星も、いつかの北極星

column
文・浜松科学館 天文チーム 伊藤将宏

7 月、アークトゥルスやスピカが西の空に傾き、南の空にはさそり座、東の空には夏の大三角が昇って夏本番の夜空となります。星空観察会も各地で行われることでしょう。にぎやかな南の空に比べ、北の空が見過ごされてしまいそうですが、この時期、北の空にはりゅう座があります。ギリシャ神話では大神ゼウスと女神ヘラの結婚を祝って贈られた黄金のリンゴを守るドラゴン「ラドン」として登場します。

そして、今から約 5,000 年前、りゅう座の星「トゥバン」が北極星でした。北極星といえば「北の方角を知る目印の星」「空の中で動かない星」とされ、永久にそこにあるもののように感じます。しかし実は、〝北極星〟と名乗る星は長い時間をかけて移り変わっていくものなのです。北極星とは、地軸を空に伸ばしていった方向にある星のことで、現在はこぐま座の尻尾の星がこれにあたります。地球の地軸は公転軌道に対して約 23.4°傾いており、太陽などの天体の引力によって、立て直そうとする力が絶えず働いています。また、地球の自転や公転で地球自身も絶えず動いています。すると、地球は地軸の向きを変えながら自転・公転することになります。この様子は止まりかけのコマの首振りにたとえられます。地球の首振りを歳差運動といい、一回りするのに約 2 万 6,000 年かかります。数千年という時間単位で空を見ると、北極星は歳差円の近くにある星が持ち回りで担当しているということがわかります。5,000 年前の人々にとって、北極星はりゅう座の星だったのです。